

一般社団法人日本LD学会 倫理規程

制定：2018年4月1日

〈目的〉

第1条 この規程は、一般社団法人日本LD学会会員（以下、会員）が、会員として諸活動を行う際に、常に倫理に配慮しその適正を期することを目的とする。

第2条 会員が自らの立場において行うその専門業務および学会に関わる諸活動において遵守すべき道義的事項に関する事項は倫理綱領に定める。

第3条 第2条に係る事項の審議は倫理委員会（以下、委員会）が行う。

〈委員会の業務〉

第4条 委員会は、〈目的〉の第1条を達成するため、本学会の理事長（以下、理事長）の指示の下に次の業務を行う。

- (1) 本規程並びに倫理綱領の改廃に関する審議
- (2) 本学会が行う研究の倫理申請の審議
- (3) 会員の倫理向上に向けて、本学会が実施する研修会等の企画・実施への提言
- (4) 理事長からの諮問に基づく倫理綱領違反に関する裁定案または苦情相談などの答申
- (5) その他、委員会が必要と認める業務

〈委員会の構成〉

第5条 委員会は、本学会の理事より選出された委員若干名をもって構成する。

- 2 委員長は、委員の互選とする。
- 3 委員の任期は、2年とする。
- 4 委員は、再任を妨げない。ただし、3期を越えることができない。

〈委員会の運営〉

第6条 委員長は、理事長の命を受けて委員会を開催し議長となる。

- 2 委員会は、委員の3分の2の出席をもって成立するものとする。
- 3 委員会は、出席委員の2分の1以上の賛成により決定を行う。ただし第4条(4)の裁定案の場合については、別に定める。
- 4 都合により委員長が、その業務の遂行に困難が生じたとき、又は欠けたときは、委員の内からあらかじめ互選により指名を受けた者(副委員長など)が委員長の職務を代理し又は委員長の職務を行う。

〈委員会の報告〉

第7条 委員長は、理事長から審議を付託された日から起算して、3ヶ月以内に審議の結果を理事長に報告しなければならない。

- 2 第4条(4)に定める諮問について、委員長は、理事長への報告に際し、その倫理綱領を違反した者に対し取るべき処分としての嚴重注意、一定期間の本学会が実施する事業への参加の停止、会員資格の取り消し、その他の裁定案を答申するものとする。

〈裁定〉

第8条 第4条(4)に定める裁定案は、委員会において、委員の3分の2以上が出席した会議の出席者の3分の2以上の同意による議決をもって答申を行い、理事長が裁定を行う。

- 2 委員長は、調査委員会を組織することができる。
- 3 本学会に苦情相談があった時にも、同様の手続きを行う。

〈改廃手続き〉

第9条 この規程の改廃は、委員会の議を経て、本学会の常任理事会・理事会においてこれを行う。

附 則

1. 本倫理規程は、2018年4月1日より施行する。